

別記第2号様式（第3関係）

令和4年度 主目標・重点事業・チーム目標設定状況報告書



所属名	岐阜県立白鳩学園	所属長名	古田 裕彦
<p>主目標</p> <p>・児童養護施設として入所児童の発達を支援し個々に応じた生活支援を充実させるとともに、社会的自立と地域交流に力を注ぎ、地域に根差した施設養護をめざす。</p>			
<p>重点事業</p> <p>①子どもを主人公とした施設運営を行い、話し合いによる問題解決を実施し、子どもが集団の中で一人ひとりが認め合える環境をつくる。</p> <p>②関係機関との連携を行い、子どもの気持ちに寄り添いながら家族再統合をめざす。</p> <p>③退所後の児童の相談支援、家庭訪問等アフターケアを行い、応援していく。</p> <p>④地域の支援者と協力し、地域の子として育てていく活動を行っていく。</p> <p>⑤施設の在り方について、岐阜県社会的養育推進計画の動向を見据え、県や法人と施設整備を含めた今後の将来ビジョンについて検討を行っていく。</p>			
<p>チーム目標（企画経営担当）</p> <p>①感染症への対策や大規模災害に備え、必要とする備蓄品、災害対応器具等の充実を図る。</p> <p>②事業計画に沿った進行状況について随時、精査及び検討をしていくなかで適正な予算執行に努めていく。</p> <p>③年間を通し節電、節水等に努め、経費の節約を図る。</p> <p>④社会的養育推進計画に沿った今後の施設の在り方について県、法人との連携を図りながら検討をすすめるとともに、子どもの生活環境に係る箇所等必要な修繕を実施し、施設維持に努める。</p>			
<p>チーム目標（生活担当）</p> <p>①「三つの家」の取り組みを引き続き実施し、子どもとの交流のツールとしての質を高めていく。</p> <p>②子どもとの対話を大切にしながら、自己肯定感を高めていけるよう育んでいく。</p> <p>③子ども相談センターと連携し家族面談や家庭訪問を実施することにより、子どもと親の気持ちに寄り添い家族再統合に向けた支援を図る。</p> <p>④入所児童の進路選択を含めた自立支援を応援していくとともに、定期的な電話連絡による近況の聴き取りや家庭訪問などにより、退所児童のアフターケアの充実を図る。</p> <p>⑤学園行事の広報の充実を図るとともに、可能な範囲において地域の行事等への参加を行っていく。</p> <p>⑥施設の小規模化、多機能化等社会的養育推進計画に沿った情報を収集するとともに必要な研修等に職員を派遣し、職員スキルの向上により支援の充実を図る。</p>			